

北広島ふるさと夢プロジェクト便り

令和4年12月
北広島町内小学校

3年ぶりに、5年生 民泊体験活動を実施しました!!

小学校5年生の「北広島ふるさと夢プロジェクト」は、民泊体験活動です。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、過去2年間は別の活動を実施したところです。

今年度、関係する皆様の多大なご尽力により、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しながら、町内の5年生が2泊3日の民泊体験活動を実施することができました。

<民泊体験活動のねらい>

- 自然の中での共同体験を通して、課題解決する力や協働する力を養う。
- 町内の自然を生かした体験活動や民泊等の地域の方とのふれあいを通して、ふるさとの良さを実感させる。

<基本メニュー>

- 1日目 給食をとってから芸北文化ホールへ移動
開会、民泊家庭との対面
民泊先家庭での民泊体験活動
- 2日目 芸北オークガーデンでせどやま市場体験
(芸北小は豊平でそば打ち体験、えんぴつづくり)
民泊先家庭での民泊体験活動
- 3日目 芸北文化ホールで民泊家庭とお別れ
大暮養魚場に移動してヤマメのつかみ取り体験
閉会、各学校へ移動

民泊体験



せどやま市場体験



大暮養魚場体験



A 令和4年 6月14日～令和4年 6月16日



八重東小



豊平小



初めてピザを作りました。とても楽しくておいしかったです。

民泊家庭でのしたことのない田舎生活体験(木工細工、野菜収穫、夕食づくり)を楽しみました。



せどやま体験で間伐材を丸太や薪に加工しました。

木を切るのは思ったよりも大変かったです。

大暮養魚場での体験活動。初めて川で魚をとったので楽しめました。生きていた魚に感謝しながら、おいしくいただくことができました。マッチで火をつけるのも初めてだったので、火を起こすのも良い体験になりました。

B 令和4年 7月12日～令和4年 7月14日



大朝小



新庄小



魚のつかみ取りや養魚場の施設見学を通して「命のつながり」を学びました。魚の内臓を割りばしでとりのぞくことも初めての経験でした。

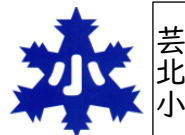
民泊先での体験活動の様子です。普段は体験できないことを各家庭でさせていただきました。この体験を経て、民泊家庭の方とコミュニケーションをとることができました。



せどやま市場では、薪を一日中切りました。エネルギーの大切さを身をもって体感した児童たちでした。



C 令和4年 7月20日～令和4年 7月22日



芸北小



そば道場での体験活動。そば粉から手打ちそばを作りました。予想以上に難しく、細い麺や太い麺ができていました。しかし、味はとても良く、みんなでおいしくいただきました。

民泊家庭での活動。自分たちで切り出した竹や民泊家庭で飼っている鶏の卵を使ってバームクーヘンを作ったり、木を削ってキーホルダーを作ったりしました。



D 令和4年11月14日～令和4年11月16日



八重小

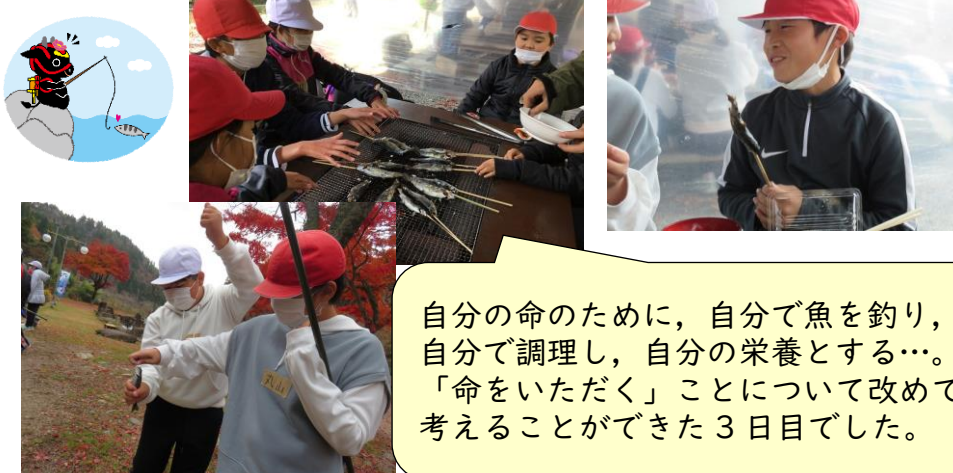


温かく迎えてくださった民泊家庭の方との交流が何よりも思い出です。短くても、ぎゅっと思いの詰まった3日間の、1日目。



森のエネルギーを人間が使うエネルギーにするために、木を切る、割る、運ぶ。自然を相手にたくさん働いた2日目でした。

自分の命のために、自分で魚を釣り、自分で調理し、自分の栄養とする…。「命をいただく」ことについて改めて考えることができた3日目でした。



E 令和4年11月 8日～令和4年11月10日



壬生小



本地小



受け入れ家庭の方ともすっかり打ち解け、笑顔いっぱいの中別れを惜しんだお別れ式の後、大暮養魚場へ出発。

対面式ではドキドキしていた子供たちでしたが、各受け入れ家庭では、普段、家ではできない貴重な体験をさせていただきました。

普段マッチを使うこともない子供たち。初めての火起こしに四苦八苦。仲間と知恵を出し合い、サポートの方のヒントを頼りに何とか着火。



せどやま市場では、丸太を切り、薪にしていきます。どうやったら切りやすいのか、うまくいくのか・・・グループで協力して活動しました。作業後のジェラートはとても美味しかったです。

大暮養魚場片桐さんより命の話を聞き、「命をありがとう」と思いながらのはらわた処理。「知っている」に実体験が重なり、「いただきます」の声にも思いがこもった体験活動となりました。



民泊体験活動を終えて

北広島町内の民泊家庭で、それぞれの家庭が工夫を凝らして用意された活動を体験させていただきました。同じ町内でもなかなか体験できない活動を楽しみながら、自然の豊かさや人のやさしさに触れることができました。

アンケート結果では

- (1) ふるさと夢プロジェクトに参加して楽しかった。
 - (2) ふるさと夢プロジェクトでいろいろな体験ができてよかった。
- についての肯定的な回答が100%でした。民泊体験活動のねらいの一つであった「ふるさとの良さを実感」することができたと考えます。

今年度の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症防止対策や3年ぶりの実施のためこれまでの民泊体験活動とは異なる困難もありましたが、充実した民泊体験活動にすることができました。この活動のために尽力いただきました民泊家庭や各施設の皆様、北広島町・北広島町教育委員会をはじめとするすべての皆様に感謝申し上げます。

5年生 夢プロ民泊活動後のアンケート

